

戦争反対のたたかいをいまも全力で



1988.6.16
No.2837

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二二七二〇七

三里塚・安保・沖縄・天皇をたたかひ、
日帝の戦争体制と対決する

6.19集会に参加しよう！

きたる六月十九日、東京明治公園で六・一九集会在開催されることになりました。この集会是「六・一五安保闘争記念日に、反戦・反権力をたたかう広範な人民の共同闘争を実現しよう」との趣旨で行なわれるものであり、動労千葉からは中野委員長が呼びかけ人となつていきます。分割・民営化体制を粉碎し、鉄道労連打倒にむけて、動労千葉のストライキ闘争の勝利をひっさげて全力で参加しよう。

ストライキが情勢をきりひらいている

動労千葉の長期・波状ストライキ闘争は、4・1分割・民営化体制をゆるがし、会社当局・鉄道労連革マル一体となつた動労千葉絶滅攻撃を粉碎して、国鉄労働運動の戦闘性を再生させるものとなつていきます。分割・民営化攻撃の狙いが、動労総連合や国労の解体攻撃であり、労働運動の産業報国会化Ⅱ戦争に協力する「労働組合」づくりにあることを考えるとき、ストライキで闘うことの正義性はますますはつきりとしています。

侵略戦争にむけた国内体制づくりをねらう日帝

昨年「十・一九」株価大暴落以降、世界帝国主義経済は「十・一九」の再現におびえながら、保護主義と経済対立の激化に突入しています。とりわけ日帝は、米帝経済の没落と対日経済報復Ⅱ保護主義と経済のブロック化の前に危機に立たされています。この危機のりきりをかけて、いま日帝は、「戦後政治の総決算」攻撃をより一層全面化させてきている現状です。国鉄労働運動をはじめ、労働運動の解体Ⅱ産業報国会化攻撃、B滑走路着工と土地収用法発動策動による三里塚反対同盟解体と三里塚闘争破壊攻撃、日米安保強化と軍備強化、「有事体制」づくり、自衛隊の海外派兵策動などをはじめ、大型間接税の導入、教育の反動化、天皇制の前面化など、反動攻撃の激化をもつて戦後政治の転換をねらつた攻撃が進んでいます。

こうした中で、社共など既成政党指導部は屈服と裏切りを深めています。これは不屈・非妥協・実力闘争で闘うということを放棄したが故であります。しかし、労働者大衆は闘いをやめたのか、

そうではありません。国鉄労働者は会社当局・鉄道労連革マルと実力対決に突入しています。反原発運動はますます広範な広がりをみせており、北富士、日本原や三宅島など反基地の闘いが全国で闘われています。

そして、何よりも三里塚の闘いは、敷地内の闘いを先頭に芝山町全域に新たな闘いが始まり、運輸省・公団を追いつめています。こうして多くの労働者大衆が今、帝国主義の攻撃に危機感をもつてたちあがりつつあります。こうした人々の結集と共同闘争の場として六・一九集会有あります。

ストライキの旗をかかげて参加しよう

多くの労働者は一方で人べらし・合理化・出向や単身赴任など生活破壊に直面しつつ、他方これれに対して「労働組合」が資本と一体となつていくことに怒りをもつて、何とかしなければと立ちあがるようになっています。動労千葉のストライキ闘争はこうした労働者に新鮮な感動と共感を生みだしています。国鉄労働運動のみならず、多くの労働者・労働組合にストライキの炎はもえ広がろうとしています。

三波のストライキの成果をひっさげて、労働運動の再生と三里塚闘争、反戦闘争の勝利にむけて六・一九集会在全力で結集しよう。

6.19集会
六月十九日正午より
東京・明治公園
指定列車・
千葉駅6番11じ16分発